

会 議 録（第 1 回総合教育会議）

会議の名称	平成30年度 第1回 飯能市総合教育会議	
開催日時	平成31年2月14日（木） 開会 午後1時30分 閉会 午後2時48分	
開催場所	飯能市役所 本庁舎別館2階 会議室1	
議長氏名	市長 大久保 勝	
出席者	市長 大久保 勝	教育長 今井 直己
	委員 (教育長職務代理者) 新野 豊次	委員 南林 さえ子
	委員 横手 伸行	委員 五江渕 幸子
説明者の職・氏名	学校教育部長 平野 功	
関係者の職・氏名	生涯学習スポーツ部長 益子 恵子	教育総務課長 浅見 浩司
	学校教育課長 中井 健一 兼教育センター所長	学校教育課 川村 信幸 学校政策担当課長
	教育センター 小久保 静治 学校教育アドバイザー	生涯学習課長 大野 美智子
	生涯学習課 田中 誠一 公民館管理担当課長	スポーツ課長 内沼 和彦
	図書館長 柳戸 信吾	博物館長 尾崎 泰弘
	子育て支援課長 五十川 美也子	

<p>会議次第</p>	<p>1 開会 2 あいさつ 市長 教育長 3 協議事項 (1) 小規模校の現状と今後の方向性 (2) 子どもたちをめぐる諸問題とその対応について 4 報告事項 (1) 質の高い教育に向けた取組について 5 その他 6 閉会</p>	
<p>配付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(資料1) 平成31年度児童生徒数学級数(見込) ・(資料2) 子どもたちをめぐる諸問題とその対応について ・平成30年度飯能市教育委員会における学校指導訪問 ・飯能市と株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントエデュケーション事業部の連携及び協力に関する基本協定書 	
<p>傍聴人</p>	<p>なし</p>	
<p>事務局職員 職氏名</p>	<p>企画部長 新井 洋一郎</p>	<p>企画調整課長 竹井 伸次</p>
	<p>企画調整課主幹 大久保 雅人</p>	<p>企画調整課主幹 小林 正宜</p>
	<p>企画調整課主事 石井 舞</p>	

発 言 者	発 言 内 容
企画部長	<p style="text-align: right;">開始 13時30分</p> <p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>(※市長あいさつ) (※教育長あいさつ)</p> <p>3 協議事項</p> <p>それでは、次第に従いまして「3協議」に入らせていただきたいと存じます。</p> <p>飯能市総合教育会議設置要綱第4条の規定に基づき、大久保市長に議長として議事の進行をお願いいたします。</p>
市長（議長）	<p>これより議長を務めさせていただきます。</p> <p>市長と教育委員会の意思疎通を十分に図るための会議でございます。どうか活発な協議ができますよう、ご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、協議事項「(1)小規模校の現状と今後の方向性について」を議題といたします。学校教育部長から説明をお願いします。</p>
学校教育部長	<p>初めに、資料1の1ページ「平成31年度児童生徒数学級数（見込）」をご覧ください。これは、2月8日現在で、来年度の飯能市立小・中学校の児童生徒数の見込を示したものでございます。</p> <p>この表から、来年度の小学校において、児童数50名を割る学校は飯能第二小学校、名栗小学校の2校であり、この2校が複式学級となっています。中学校では、50名を割る学校は、南高麗中学校、名栗中学校の2校です。</p> <p>続きまして、これら小規模校の今後の児童生徒数の推移について、ご説明します。</p> <p>まず、資料1の4ページ「名栗地区における児童生徒数の推移」についてご覧ください。これは、平成30年度から6年後の平成36年度までの推移を示したもので、丸内の数字は、この中で、現時点で小規模特認校制度を利用している児童生徒数</p>

	<p>を示しています。名栗中学校では、現在、小規模特認校制度を導入しておりませんので、例えば平成35年の名栗中学校は、実質6名であるという意味です。</p> <p>また、下部にある米印は、平成30年度の埼玉県内における生徒数100名以下の中学校です。飯能市の中学校が3校入っております。</p> <p>次に資料1の3ページ「小規模校における児童数の推移」をご覧ください。同様に今後6年間の飯能第二小学校、南高麗小学校の児童数の変化を示しています。</p> <p>以上のことから、飯能市においては、市内中央部と山間部において児童生徒数の二極化が見られ、今後もその傾向は強まることが予測されます。</p> <p>少人数での教育指導は、40名近い人数での指導に比較し、きめ細かな配慮が行き届くという良さがあることは事実です。しかしながら、あまりにも少なすぎる人数での教育は、様々な影響があると考えられます。</p> <p>したがって、飯能市教育委員会としましては、市長や教育委員皆様のご意見を伺いながら、小規模校で学ぶ子どもたちに質の高い学びを確保するため、本市として何らかの対応を考えてまいりたいと考えます。</p> <p>説明は以上です。</p>
議長	<p>学校教育部長からの説明は以上です。</p> <p>委員の皆様からご意見をお願いします。</p> <p>新野委員お願いします。</p>
新野委員	<p>小規模校の魅力は多くあります。先生方のきめ細やかな指導や、子どもたちがしっかりと考える時間が確保されていることなどが挙げられます。しかし、集団で行うことを特性とする活動を考えると、好ましくない状況があるのではないかと思います。中学校で行われている部活動がそれに当たると思われますので、小規模校の検討に当たっては、小学校よりも中学校について、慎重に検討する必要があると感じております。</p>
議長	<p>横手委員お願いします。</p>
横手委員	<p>小規模校にも良さはありますが、ある一定以下の人数になってしまうと、その良さがなくなってしまうのではないかと思います。</p>

<p>議長</p>	<p>ます。その対策として、まず、小規模特認校制度を利用する方法がありますが、それが功を奏しなかった場合には、最終的に統合という形になるのではないのでしょうか。そうならないためには、各学年10人以上は維持していかなければならないと考えています。ただ、新野委員と同様な考えで、中学生になると、活動範囲が広がるということもあり、10人では集団行動に支障が生じることも予想されますので、中学校に関しては、より慎重に検討していく必要があると思います。</p>
<p>五江渕委員</p>	<p>五江渕委員をお願いします。</p> <p>児童生徒が減少している現状を悲しく思っています。</p> <p>私の教員経験からお話をさせていただきます。小規模校に着任した際には、固定的なカリキュラムでは集団行動等で得られる力が育ちにくいので、前後の学年で活動を行うなど、流動的なカリキュラムを実施していました。また、聞いたところでは、小規模校のわたりの授業というものもございました。そこでは、子どもたちが主体的で深い学びが得られる授業を行っていたそうです。このように、小規模校では学校の教育方針を変えていくことで、教育の質を落とさずやっつけていけるのではないかと考えています。</p> <p>しかし、学校経営という面からお話をしますと、極端に児童生徒数が減ってしまった学校では、教員の数も少なく、教員1人当たりの負担が大きくなりますので、働き方改革が必要とされる現在では、小規模校で質の高い教育を維持していくことには限界があるように思います。</p>
<p>議長</p>	<p>南林委員をお願いします。</p>
<p>南林委員</p>	<p>私は教員経験はないので、データから考えられる意見を述べさせていただきます。</p> <p>山間地域では、人口の減少は顕著に見られ今後も厳しい状況のままであると思います。ある一定の人数で教育を行うことが重要であると思いますので、より広い視野で対策を考え、児童生徒数の確保のためには、学区の整備等が必要になってくるだろうと考えています。</p>
<p>議長</p>	<p>教育長をお願いします。</p>

<p>教育長</p>	<p>この度、奥武蔵小学校と奥武蔵中学校が開校になることもあり、再度、子どもたちに対しての教育はこのままでよいのかと考えています。</p> <p>地域の方々は、地域に学校があることが望ましいと思われている方が多くいらっしゃることはと思いますが、果たして少人数の学校に通う子どもたちに対して、社会性を育むための教育を行うことができるのでしょうか。行政としては、子どもたちには、集団の中で切磋琢磨しながら社会性を身に付けてほしいと考えています。そのため、地域という枠をもっと広くとらえて、子どもたちの教育を考える必要があると思っています。</p> <p>また、財政面では、教育環境をより良く整えるために効率的かつ効果的に資金の投入が必要であると考えています。児童生徒数がある程度の学校に対して、資金を投入するということが効率的であると考えますので、財政面という観点での検討も必要であると考えます。</p>
<p>議長</p>	<p>私からも意見を述べさせていただきます。</p> <p>まずは、子どもたちに、より良い環境を整えることが大人の責任であります。統合については、曖昧な判断はできませんので、リスクをよく考えて行動しなくてはならないと思っています。</p> <p>また、学校運営には、地域の理解や支援が必要となってきますので、その点についても検討をしていかなければならないと考えています。</p> <p>私からは以上になりますが、他に意見はございますか。</p> <p>(「なし」の声あり)</p>
<p>議長</p>	<p>他の意見はないようですので、ただ今ご協議いただいた内容を踏まえ、飯能市が一体となって小規模校の今後の方向性について検討していきたいと思えます。ありがとうございました。</p> <p>それでは、「(1) 小規模校の現状と今後の方向性について」は以上とさせていただきます。</p> <p>次に、「(2) 子どもたちをめぐる諸問題とその対応について」でございませう。学校教育部長から説明をお願いします。</p>
<p>学校教育部長</p>	<p>「(2) 子どもたちをめぐる諸問題とその対応について」、ご</p>

<p>議長</p>	<p>説明申し上げます。</p> <p>子どもを守る立場である父親から暴力を受け、母親、学校、教育行政、福祉行政が救うことができず、小学4年生女子児童が虐待死した事件が千葉県野田市で発生しました。本事件では、虐待を受けた児童が助けを求めるために書いたアンケートを教育行政が、虐待者である父親に開示、また、児童相談所においては一時保護扱いになった児童を、虐待の恐れがあることを認識しながら父親のもとに返すという、度重なる失態により救える命を救えなかった、と報じられています。</p> <p>児童虐待のほかにも、社会の急激な変化がもたらした経済的格差を背景とする子どもの貧困、不登校児童の増加、いじめなど子どもたちをめぐる諸問題が深刻化しています。</p> <p>飯能市におきましても程度の差はありますが、子どもたちをめぐる諸問題は存在しており、常に自分事として捉える必要があると認識しております。</p> <p>それでは、資料2「子どもたちをめぐる諸問題とその対応について」をご覧ください。</p> <p>飯能市では、教育委員会、子育て支援課、児童相談所、警察が虐待を受けている、または虐待の恐れのある子どもたちを救うために、その連携を密にしています。また、要保護児童対策地域協議会におきましても対応していただき、その情報も学校等で共有させていただいております。</p> <p>更に、飯能市では、千葉県野田市の事件を受け、市長の指示、教育長の指導のもと、2月12日、教育委員会各部、企画部、健康福祉部、市民生活部の部課長による「児童虐待等対策に関する庁内会議」を開催し、児童虐待に係る現状と課題、各課のこれまでの対応、切れ目のない防止対策に向けた今後の方向性について意見交換を行いました。</p> <p>飯能市として、これまで以上に子どもへの虐待を防止し、一人の漏れもなく子どもたちの幸せのために、保護者、地域、関係機関との連携を密にし取り組んでまいります。</p> <p>説明は以上です。</p> <p>学校教育部長からの説明は以上です。</p> <p>先日、報道にあった千葉県野田市での事件を機に、子どもたちの虐待に対しての庁内会議を開催し対策を検討しましたが、対策だけでなく、行動もしっかりとしていきたいと考えております。</p>
-----------	---

<p>新野委員</p>	<p>それでは、委員の皆様からご意見をお願いします。 新野委員をお願いします。</p> <p>先ほどの説明から、飯能市がしっかりと子どもの虐待について対策をしていることがわかり安心しました。加えて学校では、全教員が虐待に対し、しっかりと対応できるようにし、今回の様な事件を防いでほしいと思います。</p> <p>教育委員会、児童相談所、警察が密に連携をとっており、虐待等の心配は低いと思いますが、いつ、どこで起こっても対応できるよう、一層の連携の強化をお願いするとともに、専門スタッフの配置についてもご配慮いただければと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>新野委員から全教員の対応が必要との意見がありましたが、教員だけでなく、用務員や調理員等、学校に関わる全ての人の対応が必要であると思います。また、1人でなく、全員で対応をしていきたいと思います。</p> <p>学校教育部長、いかがでしょうか。</p>
<p>学校教育部長</p>	<p>市長と新野委員からの意見をもとに、教育委員会のみならず、学校と連携を取りながら、諸問題への対応については、全員で、そして、全力で対処していきたいと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>教育と関わりが薄いと思われがちな市長部局においても、連携をとり、毅然とした態度でこのような問題に取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>南林委員をお願いします。</p>
<p>南林委員</p>	<p>子どもたちの問題については主に貧困といじめの2点あります。この2点については、飯能市で慎重に対応をお願いします。</p> <p>そこで、1点質問があります。学校では、いじめに関するアンケートを行っていますが、虐待に関するアンケートは行わないのでしょうか。行っていないのであれば、その事案の吸い上げや対応はどのようにして行われているのでしょうか。</p>
<p>議長</p>	<p>学校教育部長をお願いします。</p>
<p>学校教育部長</p>	<p>学校では、常に子どもたちの表情や態度を観察して、学校や</p>

	<p>家庭において、安全に生活ができているか気にかけております。多少でも異変が見受けられましたならば、学校の養護教諭が身体を調べることになっています。そして、担任の教諭や子育て支援課と連携しながら聞き取りを行うようにしております。</p> <p>特に、虐待が疑われるような場合には、躊躇せず通報する旨、学校長には指示しており、過去には、実際に通報した事例もありました。</p>
議長	<p>学校に限らず各部署における対応を聞きたいと思います。図書館や博物館ではどのような対応をしていますか。図書館長いかがでしょうか。</p>
図書館長	<p>現在までに、図書館では虐待の事案はありませんでしたが、そのようなことがあった際には、学校と同様に関係部署と連携を図り、的確に対応したいと思っております。</p>
議長	<p>博物館長いかがでしょうか。</p>
博物館長	<p>図書館と同じく、今までに事案はありませんでした。しかし、実際に虐待が起きているということも考えられます。来館者の様子に気を配るとともに、異変があった場合には関係部署と連携をとり、可能な限りの対応したいと思っております。</p>
議長	<p>学校でなくても、親子が多く来館する図書館や博物館では、この問題に対してしっかりと意識をして対応してほしいと思っています。</p> <p>次に公民館はどのような対応をとっていますか。公民館管理担当課長お願いします。</p>
公民館管理担当課長	<p>先日、公民館長会議があり、その席で虐待は学校だけのものと思わず、各館でも来館者や地域の方々に対しても様子を気にかけるようにと指示したところであります。</p>
議長	<p>どの公民館でも対応しているものと思いますが、本日の総合教育会議を機に、再度、非常勤職員を含めた全職員が意識していただくようお願いします。</p> <p>委員の皆様から意見はございますか。</p>

<p>五江渕委員</p>	<p>五江渕委員お願いします。</p> <p>子どもたちの中には、家に帰りたくない児童センターや学童クラブに身を寄せたがる子もいます。市長が掲げるオール飯能体制を活かし、そのような場所でも対応ができるように、確認をしていただきますようお願いします。</p> <p>教育現場では、「もしかして」の気づきをこれからも続けていき、また、問題が起こってしまった場合には、全員で対応できるよう再度確認をしていただきたいと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>横手委員お願いします。</p>
<p>横手委員</p>	<p>私の知らないところでもこの問題について対応している場所が多く、安心しました。</p> <p>子どもたちの問題について大事なのは、異変に気づき、連携することです。工場に例えると、部品に不備があった場合、センサーが発見し、その情報が的確なところに伝わらなければ対応の機会を逃してしまいます。そのため、すぐに異変を察知し、情報を共有、伝達するという連携を大事にし、同時に連携できる環境の整備をしてほしいと思います。話を聞く限りでは、飯能市の対応で問題があるとは感じられません。しかし、今の対応に慢心することなく、これからも向き合ってほしいと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>教育長お願いします。</p>
<p>教育長</p>	<p>千葉県野田市の事件があった直後、庁内では対策検討会が開催され、全庁的に子どもたちを守る体制について再度確認したところであります。</p> <p>また、なぜ親が自分の子どもを虐待してしまうのか、ということについては、行政だけでなく、地域でも検討し、対応しなければいけないと感じています。親も悩みを抱えているので、それが原因である可能性もあります。</p> <p>子どもだけでなく、親に対しての支援を、市長部局と教育委員会でしっかりと連携し、方針を検討していく必要があると思っています。</p>
<p>議長</p>	<p>福祉部門からの意見を子育て支援課長からお願いします。</p>

子育て支援課長	<p>千葉県野田市の事件の前に、目黒区の未就学児への虐待事件があり、18歳未満の全ての子どもたちの安全確認を行うよう指示がありました。飯能市では、就学児は各学校で、未就学児においては6か月健診や保育所、福祉サービスの利用状況をもとに安全確認を行いました。市町村によっては確認が思うように進んでいない状況でありましたが、飯能市では各部局や各関係部署の担当との連携が密に行われていたため、6月には全ての子どもたちの安全確認を速やかに行うことができました。</p> <p>このような連携を今後も継続し、子どもたちの安全を見守っていきたいと考えています。</p>
議長	<p>スポーツ部門からの意見をお願いします。 スポーツ課長をお願いします。</p>
スポーツ課長	<p>体育施設を管理しているNPO法人飯能市体育協会、飯能市スポーツ少年団に関しても、まずは子どもたちの安全を優先して考え、スポーツ課が事務局として情報の集約に努めるとともに、各団体と情報を共有するなど、子どもたちの安全を見守るための連携体制の構築に努めています。</p>
議長	<p>お互いに共通認識を持つため、学校や福祉部門に限らず、公民館、図書館、博物館、スポーツの分野でも情報を共有し、これからも連携を強めてほしいと思います。 生涯学習スポーツ部長をお願いします。</p>
生涯学習スポーツ部長	<p>生涯学習スポーツ部は、この問題について担当の区別なく、全員で対応していくことを前提にしています。 家庭教育学級におきましては、県や学校長と連携して、子どもの権利について通信紙を配付しました。保護者に向けたものですが、子どもたちに対しても、何かあったら相談するようにと学級担任から伝えてもらうようお願いしたところです。 また、再度、各担当でどのように子どもたちの安全に関わることができるか、全員で検討していきたいと思います。</p>
議長	<p>教育センターからも意見をお願いします。 教育センター所長いかがでしょうか。</p>

<p>学校教育課長 兼教育センター所長</p>	<p>資料2にもありますように、教育センターでは、子育て支援課の協力のもと、生徒指導や相談を行うため定期的に学校を訪問をしています。学校から子どもたちの状況や家庭環境を聞き、子どもたちを見守り、支援しています。</p> <p>また、日頃の相談では、スクールソーシャルワーカーや相談員など専門知識がある職員が対応しています。</p> <p>今後も、学校だけでなく、広い範囲において情報を共有していきたいと考えています。</p>
<p>議長</p>	<p>他の職員からその他に意見はありますか。</p> <p>(「なし」の声あり)</p>
<p>議長</p>	<p>教育委員から意見はございますか。 新野委員お願いします。</p>
<p>新野委員</p>	<p>飯能市では、様々な検討会議や対策があり、覚悟を決めて取り組んでいると感じました。いつどこで事件が起こるかわかりません。まずは全職員が初期対応できるような体制づくりや、指示を出すことができるような研修の実施も必要ではないかと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>南林委員お願いします。</p>
<p>南林委員</p>	<p>先ほど、教育長からお話がありましたように親についての対応が必要であると考えています。</p> <p>頻繁に子どもと外に出ていく親であれば、早期に対応することができますが、そうでない親の場合には、学校が子どもの異変を感じ取り、親に接していくことが良いのではないかと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>ただ今、南林委員から意見がありましたが、学校教育部長、いかがでしょうか。</p>
<p>学校教育部長</p>	<p>学校の教諭は、親に次いで子どもたちと過ごす時間が長いので、これからも異変を見過ごさないよう対応していきたいと思えます。</p>

議長	教育長をお願いします。
教育長	<p>連携ということでは、乳幼児から保育所、幼稚園、小学校から中学校に至るまで情報を引継いでいくことが重要であると思います。また、近隣都市との連携協定を活用して、転出や転入においても、市を越えた情報共有の強化に努めていきたいと思っています。</p> <p>そして、学校長には既に伝達しておりますが、子どもたちの小さな異変を見過ごすことで、大きな事件に繋がってしまうこともありますので、大小関わらず早期に異変に気づき、多くの人に関わり対応してほしいと思います。</p>
議長	五江渕委員をお願いします。
五江渕委員	子育て支援課長からお話がありました関係機関や部署が連携した取組は、とても素晴らしいものと感じました。指示があつての安全確認に限らず、普段からの情報共有を活発にさせていただけると、更に良いものになると思います。
議長	飯能市スポーツ少年団に関して、特に関わりが強い横手委員から意見がありましたらをお願いします。
横手委員	現在の飯能市スポーツ少年団の状況ですが、指導者よりも親の行き過ぎた言動が見受けられることがあります。子どもの気持ちより、親の過剰な言動からトラブルに繋がってしまった事例もありました。そうした状況は、事務局であるスポーツ課と情報を共有しながら対応するようにしております。
議長	<p>自分の子どもが中心だという過度の考えにより、親同士のトラブルに繋がるようなことは、子どもにとって大変な悪影響であると考えます。子どもたちが活動の中心であつて、親が中心ではないはずです。親が子どもたちの見本となるよう、相手に対しても思いやりを持って接していただくことを期待します。</p> <p>飯能市スポーツ少年団においては、問題を抱え込まず、事務局と連携を取りながら対応してほしいと思います。</p> <p>それでは、これまでいただいた意見を踏まえ、子どもたちに関する問題について、これまでの対応に満足することなく、更に連携を強化し、対応していきたいと思っています。ありがとうございます。</p>

<p>企画部長</p>	<p>ございました。</p> <p>それでは、「(2) 子どもたちをめぐる諸問題とその対応について」は以上とさせていただきます。</p> <p>以上で協議事項はすべて終了しましたので、議長の任を解かせていただきます。</p>
<p>学校教育部長</p>	<p>大久保市長、議事の進行ありがとうございました。</p> <p>それでは、「4 報告事項」に入らせていただきます。「(1) 質の高い教育に向けた取込について」2点報告がございます。</p> <p>1点目について、学校教育部長から報告をお願いします。</p>
<p>企画部長</p>	<p>資料としてお配りしております「平成30年度飯能市教育委員会における学校指導訪問」をご覧ください。飯能市では、埼玉県から支援をいただき、各学校2年に1度、全職員の授業公開、分科会、全体会により指導を行うという、学校指導訪問を行っております。</p> <p>また、任意ではありますが、教育研究会を5年に1度、学校が自主的にテーマを決めて研究発表を行っております。</p> <p>更に、来年度からは、新たに、各学校の主体的、対話的で深い学びの実践研究を人的に、財政的に支援する事業を計画しております。</p> <p>報告は以上です。</p>
<p>企画部長</p>	<p>学校教育部長からの報告は以上です。</p> <p>ただ今の報告について、委員の皆様から質問等はございますか。</p> <p>(「なし」の声あり)</p>
<p>企画調整課長</p>	<p>引続き、2点目について企画調整課長から報告をお願いします。</p> <p>資料としてお配りしております「飯能市と株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントエデュケーション事業部の連携及び協力に関する基本協定書」をご覧ください。平成30年12月12日に、飯能市と株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントエデュケーション事業部において、地方創生、また、双方の発展のために結んだ協定であります。</p>

	<p>この協定に基づき、飯能市におけるミュージカルプログラムを、質の高い教育として実施したいと考えております。これは、歌、ダンス、表現力が一体となった総合教育プログラムになります。このプログラムの目標としては、子どもたちが伝えたいことをきちんと伝える力をつけることとしております。また、演ずることにより、発想力、論理力、表現力が育てられるものと考えております。</p> <p>現在、学校法人大川学園大川学園高等学校において本プログラムを実施をしており、大きな成果が得られたと聞いております。</p> <p>このように、民間企業の力も借り、質の高い教育を行っていきたいと思います。</p> <p>報告は以上です。</p>
企画部長	<p>企画調整課長からの報告は以上です。</p> <p>ただ今の報告について、委員の皆様から質問はございますか。</p> <p>(「なし」の声あり)</p>
企画部長	<p>ご質問もないようでございますので、以上で報告事項は終了させていただきます。</p> <p>それでは、次に「4 その他」でございます。</p> <p>事務局からはございませんが、委員の皆様から何かございますか。</p> <p>(「なし」の声あり)</p>
企画部長	<p>慎重かつ熱心にご協議いただき、誠にありがとうございました。それでは、本日の会議は以上で閉会とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">終了 14時48分</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成 31 年 3 月 8 日

市長の署名 天久保 勝

教育長の署名 今井 直己